

パリDAC通信(今年のDACハイレベル会合の議題は)

5月21日に開催される今年のDACハイレベル会合の議題が出揃いました。閣僚・長官級が集うハイレベル会合の議題には、現在のDACが最も関心ある事項が反映されています。

■議題1 紛争と脆弱な状況下における全政府型アプローチ

紛争や脆弱な状況下において3D(Development, Diplomacy, Defense)が協調して支援する全政府型アプローチについて、これまでに開催された3分野のテーマ別会合の結果をもとにDACにおいて今後どのような取り組みが必要かについて議論されます。

■議題2 食糧価格高騰

世界的な拮がりを見せている食糧価格高騰の課題について、DACも開発の視点やOECDにおける政策の一貫性の観点からどのような取り組みが行うことが可能かについて議論されます。

■議題3 2008年の開発協力の政治的課題

国連経社理開発協力フォーラム(6月、ニューヨーク)、アクラハイレベルフォーラム(9月、アクラ)、開発資金フォローアップ会合(11月、ドーハ)という本年の一連の開発分野の会合のつながりを念頭に、援助効果向上や援助額の見通しについてどのような政治レベルのメッセージを打ち出せるかについて議論されます。

■議題4 変化する外部環境とDACの将来の役割

DACを取り巻く外部環境に急激な変化が起こっていることを踏まえ、最近OECD理事会がDACに対して役割、機能、構成をレビューするよう勧告した、DAC設立以来最も大掛かりに行われるリフレクション作業について議論されます。

■議題5 気候変動と開発

2006年4月に採択された「開発協力における適応の主流化」閣僚宣言の取組状況及び戦略的環境評価に関するステートメントが採択される予定です。また、適応策のための追加的資金及びCDMにおけるODAの役割について議論されます。

DACハイレベル会合の前日には、DACドナーだけでなく民間セクター、市民社会組織も対象とした「開発のためのグローバルフォーラム」も開催されます(詳細はこちらをご覧ください www.oecd.org/development/globalforum)。